



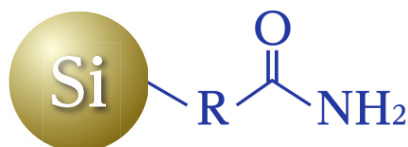
## 保持の強さと耐久性に優れたHILIC用カラム

### 特長

- ・ 逆相モードでは保持しにくい高極性化合物を保持・分離できます
- ・ アミド基(カルバモイル基)結合型なので、HILIC用カラムの中でも保持が強いタイプです
- ・ 水を多く含む溶媒を流した場合の耐久性においても優れています

### 仕様

- 母体 : 高純度球状シリカゲル(ESシリカ)
- 粒子径 : 3 μm, 5 μm
- 表面積 : 350 m<sup>2</sup>/g
- 細孔径 : 100 Å(10 nm)
- 細孔容積 : 0.85 mL/g
- 化学結合基 : カルバモイル基
- エンドキャップ : なし
- 炭素量 : 15 %
- 推奨使用pH範囲 : 2~8.5
- USPコード : L68

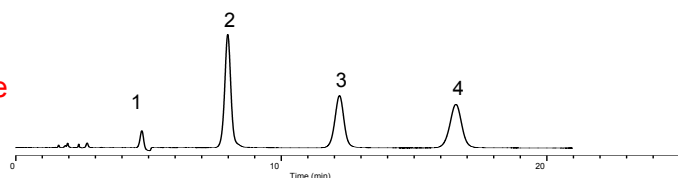


### 【メラミン類の分析における保持の比較】

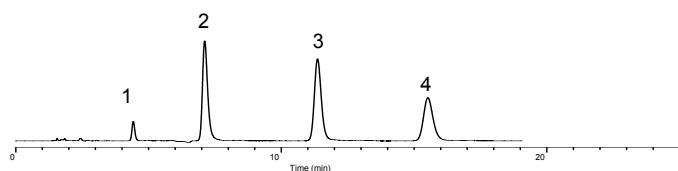
シアヌル酸やメラミンなどは極性が非常に高いため、逆相カラムでは保持・分離が難しい化合物です。しかし、InertSustain AmideのようなHILIC用カラムを用いれば十分に保持させることができます。

また、下記のクロマトグラムにあるように、他のHILIC用カラムと比べた場合でも、InertSustain Amideは全体的に保持が強く、極性化合物の分離に長けていることがわかります。

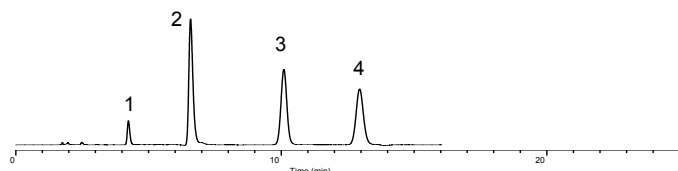
InertSustain Amide  
(アミドカラム)



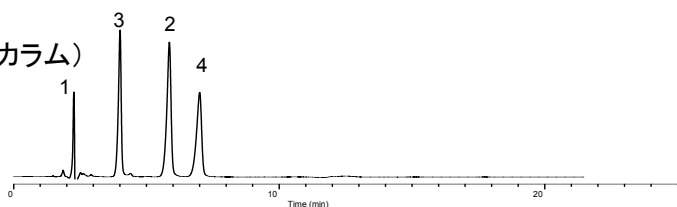
Brand A  
(アミドカラム)



Brand B  
(アミドカラム)



Brand C  
(非修飾型シリカカラム)

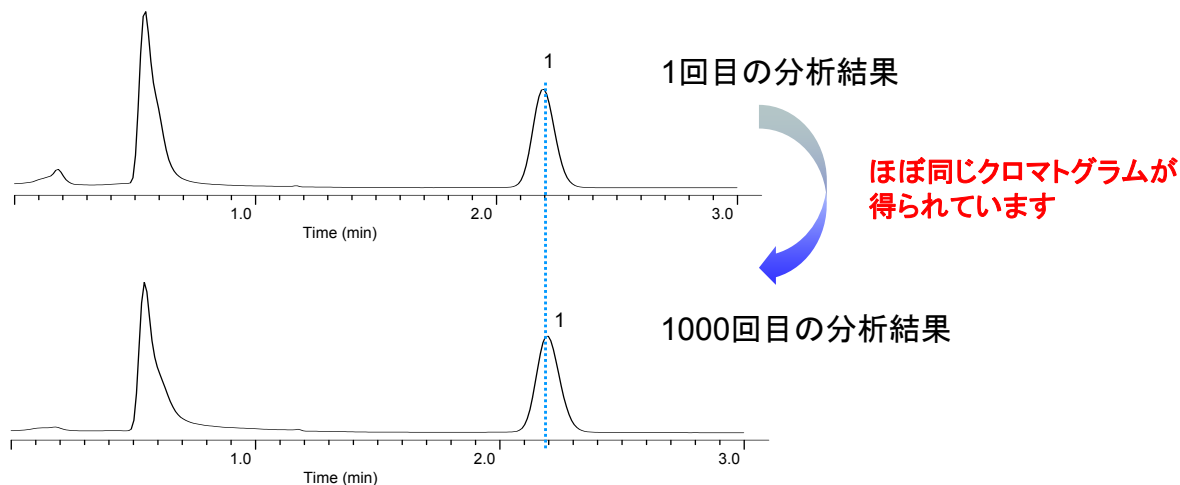


#### Conditions

Column : 5 μm, 150 × 2.1 mm I.D.  
 Eluent : A) CH<sub>3</sub>CN B) 10 mM HCOONH<sub>4</sub>  
 A/B = 90/10, v/v  
 Flow Rate : 0.2 mL/min  
 Col. Temp.: 40 °C  
 Detection : UV 215 nm  
 Sample : 1. Cyanuric Acid  
 2. Melamine  
 3. Ammelide  
 4. Ammeline

## 【連続分析時の耐久性】

アスコルビン酸(ビタミンC)の分析では、サンプルの分解を防ぐためにサンプル溶媒としてメタリン酸水溶液などが使われます。シリカベースのアミド基結合型カラムでアスコルビン酸を分析する場合、その強酸性のサンプル溶媒が原因となってカラムが早期に劣化する場合があります。しかし、耐久性が改善したInertSustain Amideであれば1000回分析した後でも新品の状態と同等の結果が得られました。



### Conditions

Column : InertSustain Amide (5  $\mu$ m, 150  $\times$  3.0 mm I.D.)  
 Eluent : A) CH<sub>3</sub>CN B) 0.1% H<sub>3</sub>PO<sub>4</sub>

A/B = 87/13, v/v

Flow Rate : 0.8 mL / min

Col. Temp. : 40  $^{\circ}$ C

Detection : UV 243 nm

Injection Vol. : 2  $\mu$ L

Sample:

1. Ascorbic acid

(サンプル溶媒: 2%のメタリン酸水溶液)

## 【価格表】

粒子径: 3 $\mu$ m	長さ\内径 (mm)	2.1	3.0	4.0	4.6	価格
	50	5020-88727	5020-88735	5020-88743	5020-88751	46,000
75	5020-88728	5020-88736	5020-88744	5020-88752	52,000	
100	5020-88729	5020-88737	5020-88745	5020-88753	52,000	
150	5020-88731	5020-88739	5020-88747	5020-88755	58,000	
250	5020-88732	5020-88740	5020-88748	5020-88756	68,000	
粒子径: 5 $\mu$ m	長さ\内径 (mm)	2.1	3.0	4.0	4.6	価格
	50	5020-88603	5020-88611	5020-88619	5020-88627	42,000
	75	5020-88604	5020-88612	5020-88620	5020-88628	47,000
	100	5020-88605	5020-88613	5020-88621	5020-88629	47,000
	150	5020-88607	5020-88615	5020-88623	5020-88631	52,000
	250	5020-88608	5020-88616	5020-88624	5020-88632	63,000

注1) 標準ジョイント形式は、1/16インチウォーターズオシネ型です。その他のジョイント形式については、お問い合わせください。

カラムの推奨最大圧力は、20MPaです。

注2) 上記以外にも様々なサイズを用意しています。詳しくはお問合せください。

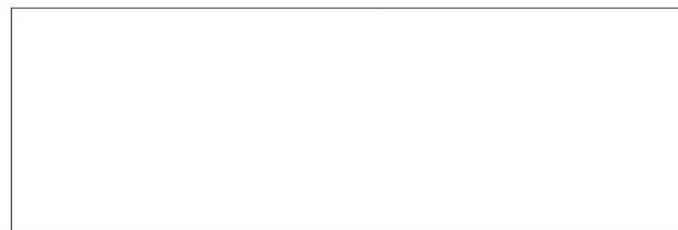


東京営業部 TEL.03(5323)6611 FAX.03(5323)6622  
 大阪支店 TEL.06(6357)5060 FAX.06(6357)4580  
 横浜支店 TEL.045(985)7900 FAX.045(985)7901  
 東北営業所 TEL.024(534)2191 FAX.024(536)1518  
 筑波営業所 TEL.029(858)3700 FAX.029(858)3780  
 北関東営業所 TEL.048(667)1611 FAX.048(667)1656  
 千葉営業所 TEL.043(248)2441 FAX.043(248)2485  
 名古屋営業所 TEL.052(931)1761 FAX.052(931)1814  
 広島営業所 TEL.082(233)1101 FAX.082(233)1110  
 九州営業所 TEL.092(738)6633 FAX.092(738)6636

総合技術本部 TEL.04(2934)2121 FAX.04(2934)2128  
 カスタマーサポートセンター TEL.04(2934)1100 FAX.04(2934)3361  
 福島工場 TEL.024(533)2244 FAX.024(534)2139

- 掲載している価格には消費税が含まれていません。
- 改良のため、型式、価格、仕様などにつきましては予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本カタログに掲載している会社名および製品名は、それぞれ該当する各社の商標、または登録商標です。
- 本文中にはTMおよび®マークは明記していません。
- データに起因し、直接的または間接的に生じたいかなる損害に対しても、当社が責任を負うものではありません。また、記載事項につきましては、予告無しに改訂する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本社 〒163-1130 東京都新宿区西新宿6丁目22番1号 新宿スクエアタワー30F  
 TEL.03(5323)6611 FAX.03(5323)6622  
<http://www.gls.co.jp> E-mail:info@glsc.co.jp



安全に関するご注意

ご使用前には必ず「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

AA851-20160830PDF